

# 寺だより

22/08/10  
第105号

真宗大谷派  
青龍山西光寺  
珠洲市正院町正院

## 〓 本山法要団体参拝のお誘い 〓

主催：真宗大谷派能登教区第十組

このたびの地震により、被害に遭われた皆さまに、あらためて心よりお見舞い申し上げます。

さて、来年四月に本山・東本願寺において、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要のお参りが勤まります。

能登教区第十組主催の団体参拝の西光寺の割当人数は10人です。  
参拝ご希望の方は、今月（8月）21日までにご連絡ください。

### 〇 期間

令和5年4月15日（土）〜16日（日）

〇 旅行代金 3万円〜4万円

〇 募集人数 10名（西光寺割当）

〇 締め切り 令和4年8月21日（日）

〇 申込先 西光寺



東本願寺  
キャラクター  
あかほんくん

	行 程	食事
4/15 (土)	珠洲 〓 貨切バス 能登有料・北陸道・名神道 〓 昼食(京都近郊) 〓 5:00~5:30 12:00~13:00 〓 長浜別院参拝 〓 琵琶湖温泉(泊) 13:30~15:30 16:30ごろ 宿泊予定:琵琶湖グランドホテル	朝× 昼○ タ○
4/16 (日)	琵琶湖温泉 〓 本山慶讃法要お参り 〓 昼食(本山にてお弁当) 8:30 9:30~11:40 12:00~12:40 阿弥陀堂で参拝します。参拝席はすべてイス席です。 〓 京都国立博物館「親鸞展」 〓 お買い物(京都近郊) 〓 13:30~14:30 15:00~15:20 名神・北陸道 夕食(金沢) 〓 珠洲 〓 18:30~18:30 能登有料 22:00ごろ	朝○ 昼○ タ○

お盆がやってきます

8月13日、16日の間は、本堂はいつでも開けております。お墓参りの前に本堂に上がられ、阿弥陀さまにお参り下さい。

13日・14日・15日の三日間 本堂に、給茶器で冷たいお茶を用意しております。



亡き人を案ずる私が 亡き人から案じられている。

いのちと向き合う時間を。

浄土真宗の門徒は、亡き人を「諸仏」といただいてきました。

諸仏とは、私たちを人間としての現実の生き方へと導いてくださる仏さまのことです。

亡き人を、「真実に目覚め、真実に生きよ」と呼びかけてくださる「諸仏」といただき、今を生きる私自身が、実際の教えを聞くことこそ、亡き人を本当に尊ぶことになるのです。

東本願寺リーフレットより

## 臨時総代会の報告

8月7日(日)、臨時総代会を開催し、地震による被害の復旧や延期された永代経法要の実施について協議しました。

### 決定事項1

六千円(維持費四千円+修繕費二千円)を西光寺維持費として、今年度より5年間集金する。

地震による西光寺の被害ですが、六月の寺だより臨時号でお知らせしました仏具の破損や広範囲にわたる壁の亀裂・崩落やガラスの破損の他に、本堂西側の屋根瓦破損並びに広間の棟部の破損・針金の断線等大きな被害がありました。

屋根について専門家に点検依頼したところ、早急に葺き替え工事が必要との報告がありました。

総代会では、本年度中にまず屋根の葺き替え工事を行うことを決定しましたが、また、修繕工事にかかる費用ですが、門徒さん一戸あたり一万円お願いすることが決まりました。

なお、集金方法ですが、六千円(維持費四千円+修繕費二千円)を西光寺維持費として、今年度より5年間に渡り集金することとしました。

## 資料

### ① 修繕工事費概算額

○屋根葺き替え工事見積もり

3,957,390円

○仏具修繕・壁修理等費用

537,610円

### ② 収入概算額

○JA地震共済金

1,275,000円

○真宗大谷派能登教務所見舞金

20,000円

○令和4年度維持費修繕費

300,000円

### ③ 門徒御依頼額

(① | ②) × 290 (門徒戸数)

10,000円



本堂西側 赤丸→工事予定



広間 赤丸→工事予定

## 決定事項2

日程を短縮して、10月2日(日)より3日(月)まで、永代経法要を勤める。ただし、コロナの状況により中止する場合もある。

## 西光寺永代経法要のご案内

亡きお方をご縁として

10月2日(日)・3日(月) 午後2時より

法話 寺西良夫先生(富山県氷見市)

6月下旬に予定していましたが永代経法要を、10月2日・3日にお勤めさせていただきます。

10月3日には西光寺門信徒総追悼法要も併せてお勤めします。

お参りの皆さまには、読経中お焼香をして頂いております。

どうぞ皆さま、お誘い合わせの上、お参り下さい。

## 永代経法要とは

永代経には、先達の「お寺の本堂に永代に渡って、仏さまの教えが子々孫々に続いていきますように」、そこからまた「お念仏の道場であるお寺が永きに渡って存続し、お念仏の教えが繁栄し続けるように」という願いが込めら

れています。

長きにわたり、代々伝えられてきたお念仏の道を途切れることなく、次の世代に申し伝える、この尊いご縁をいただくのが、永代経です。

亡き人、ご先祖さまに「ありがとうございます」と感謝申しつつ、仏法聴聞のご縁にさせていただきますでしょう。

お参りは午後二時からですので、受付は二日間とも午後からになります。

■ 前年度物故者追悼法要について

10月2日(日)午後二時

昨年四月より今年三月に亡くなられたご門徒さん(24名)の追悼法要です。永代経法要と併修します。

法要の初めに、亡くなられた方のお名前を読み上げます。お勤めとともに、ご遺族の方々にお焼香をしていただきます。

法要終了後、ご遺族の方には、お供えをお渡ししますので、お持ち帰りいただけます。

永代経志・特別懇志について

近親者が亡くなられた事をご縁に、故人の追慕から納められる特別な懇志を、『永代経志』といえます。

北陸地方では、祠堂が上がるとも言います。

『永代経志』を納められますと、永代経志札を本堂に上げさせていただきます。そして、永代経法要の期間中の前年度物故者追悼法要とは別に、日時を合わせて来寺していただき、特別永代経のお勤めにお参りいただきます。お勤めの後、お備えしたお仏飯と



お齋は、西光寺特製精進料理

西光寺で作った精進料理を参詣の皆様にご利用しております。なお、西光寺では毎朝六時五十分より「おあさじ」という朝のお勤めをしておりますが、そのおあさじのお勤めの後に、祠堂が上がった方々の命日のお勤めとして、「歎佛偈(たんぶつげ)」というお経を読経しています。

永代経志・特別懇志を考えられていらっしゃる方は、西光寺までお問い合わせ

わせ下さい。

■ 法和会 七月・八月開かれる!



8月8日 法和会

7月8日(金)、8月8日(月)の午後2時より法和会の集いがありました。両日とも、三十度を超す猛暑となりましたが、十一名の方が寺まで足を運んでくださいました。頭が下がる思いです。正信偈を唱和したあと、西光寺住職の法話を聞きました。休憩時には、大正琴の伴奏による合唱。皆さん大きな声で楽しそうに歌われていました。

西光寺では毎月8日に仏教を聞く会「法和会」を開催しております。午後二時より正信偈をお勤めした後、ご法話をお聞かせ頂きます。

持ち物は、お数珠・正信偈赤本・お賽銭二百円です。

次回は、9月8日(木)実施予定です。どうぞお誘い合わせの上、ご参加下さい。

西光寺護持委員会からお願い

◆西光寺維持費について

今年度より五年間六千円とします。先般、維持費を四千円をお願いいたしました。地震被害復旧の為六千円とさせていただきます。

ご門徒の皆さまには、地震による大きな被害状況の中で何かと大変かと思いますが、なにとぞご理解いただきご協力のほどよろしくお願いいたします。なお、今年度は、九月下旬に、各町内護持委員さんが、集金に回られますのでお願いいたします。

第105号  
また遠方の門徒さんには申し訳ありませんが、直接西光寺あるいは郵送でお納めいただければ幸いです。

●秋のお彼岸のお参りの案内

9月23日(金) 午後2時から

法話 西光寺住職

少し早いですが、秋の彼岸会の案内です。

浄土真宗において「彼岸」とは、阿彌陀仏の「浄土」を指します。浄土は、私たちが還って行く世界であると同時に、迷いの世界である「此岸」に生き

る私たちの在り方を照らし、私自身の生き方を問いかけてくる世界です。

お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を偲ぶとともに、自分の生活を振り返る大切な時です。どうかお参り下さい。

◆墓地管理委員会からのお知らせ

◆二〇二二年度墓地代について

九月下旬に、護持委員さんが集金に回られますのでよろしくお願いいたします。

護持委員さんのおいでない町内の方、また遠方の方は、直接西光寺へ、あるいは、西光寺内墓地管理委員会宛に郵送等でお願います。

◆墓地清掃について

8月9日(火)

10日(水)に、

シルバー人材センターに依頼して墓地清掃を実施しました。

酷暑の中、シルバーの皆さんのおかげできれいになりました。



除草中のシルバーさん

|| 編集後記 ||

正しいの「正」という漢字。

よくみると「一」と「止」で出来てます。

仏教用語に「一日一止」があります。

一日に一度、立ち止まって省みる時間を持ちなさい、という意味ですね。

それが正しいことなのだ。

人はなにかと忙しいもの。

走り続けている、と思ったら追われてた。あるいは、まちがった方向へ全力疾走していた。

なんてこともあるかもしれません。

一日に一度、止まってみませんか？

一年分まとめて後で振り返ろう、とか四半期ごとに見直そうということはあっても、なかなか一日単位というのは見過ごされがちではないでしょうか。大事なのは止まること。

止まる時間を作ることです。

呼吸以外の、いましていることすべてを止め省みる。

一日一回でも、立ち止まり、自分を顧みる事が正しい行いにつながります。

心静かになれる場所がお寺の本堂であり、ご自宅の仏壇の前ではないでしょうか。

手を合わせて心静かになることも大切なことかと思えます。

南無阿彌陀仏